

三五とノーラエンジニアリング 次世代配管システムに関する合併会社設立を決定 ～ フェライト系ステンレス鋼材の継手レス加工技術でCO₂排出量を低減 ～

株式会社三五(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:恒川 敬史)と、ノーラエンジニアリング株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:堀田 幸兵)は、フェライト系ステンレス鋼材の継手レス加工技術による次世代配管システム FP35(エフピーサンゴ)の事業化に伴い、合併の新会社を設立することを合意しましたので、お知らせいたします。

1. 設立決定の背景

地球温暖化対策として世界的な脱炭素化の取り組みが加速しているなか、建設業界においては、LCA(Life Cycle Assessment)を考慮し、資材の製造・調達から建物の設計・施工、さらには運用・改修・解体にわたる各段階で、温室効果ガスのさらなる排出抑制の取り組みが求められています。

同時に、建設業界では施工を担う方々の高齢化や人手不足などの課題があり、現在一般的に用いられている工法では、耐腐食性、ネジ接合に起因する施工プロセスの多さ、運搬、揚重にかかる現場作業負担が大きいといった課題を抱えています。

次世代配管システム FP35(以降、本システム)は、管と継手の一体化部材によるプレハブ工法の配管システムで、薄肉軽量化を図ることができ、作業負荷の低減効果も実証済みです。耐腐食性、耐熱性、耐酸化性、熱疲労特性等に優れているとともに、配管としての寿命が長く、CO₂排出量の低減にもつながります。

本システムの特性により、工期短縮、施工費低減、取回し性能向上等が見込め、施工省力化やカーボンニュートラルへの貢献、さらには保守運用面の効率化を通じイニシャルコスト、ライフサイクルコストの低減等を図り、建設業界で直面する喫緊の課題解決やSDGs達成に寄与してまいります。

2. 合併会社設立の狙い

三五は自動車業界で培ったパイプ加工、板金プレス加工等の技術や品質管理ノウハウを活用し、ノーラエンジニアリングはフェライト系ステンレス配管加工の開拓者として独自に築いた営業、物流、アフターサービス等のノウハウを活用することで、機能の相互補完体制を構築、フェライト鋼ステンレス配管の普及と市場拡大を狙います。



3. 合併会社概要(予定)

称号	協議の上、決定
代表者氏名	協議の上、決定
本社所在地	福岡県豊前市大字小石原 185-8
資本金	9,500 万円
議決権比率	三五 65% ノーラエンジニアリング 35%

4. 今後の見通し

合併会社設立: 2024年7月(予定)

合併会社操業: 2024年10月(予定)

なお、上記の時期を予定しておりますが、今後の手続き等進捗状況を踏まえて、適時情報開示いたします。

(参考)両社の会社概要

株式会社三五 (<https://sango.jp/>)

代表者 代表取締役社長 恒川敬史

本社所在地 〒456-0023 愛知県名古屋市中熱田区六野一丁目3番1号

創業 1928年6月

主な取扱製品 エキゾーストマニフォールド、エキゾーストパイプ、マフラー、ボディ部品、ドアビーム、その他自動車部品、冷間鍛造部品、みがき棒鋼、引抜鋼管、機械構造用炭素鋼管、切削／研削みがき棒鋼、建設用配管

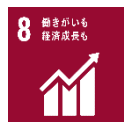
ノーラエンジニアリング株式会社 (<https://www.nowla.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 堀田 幸兵

本社所在地 東京都千代田区飯田橋 4-8-4 第二プレシーザビル3階

設立 1991年8月

主な取扱製品 衛生・空調用プレハブ加工管、パッキング、省力機械装置、空気清浄装置、建築設備配管、工場設備配管、配管構成材加工製品及び管継手、配管用材料



【本件お問合せ先】

[広報関連] 池上 京子 TEL:052-882-3593/FAX:052-872-6890/MAIL:k-ikegami@sango.co.jp

[販売関連] 勝又 武彦 TEL:0565-34-9517/MAIL:t-katsumata@sango.co.jp

[技術関連] 青木 勇貴 TEL:0565-34-9739/MAIL:y-aoki@sango.co.jp